



▲地域の重要拠点「支所」の機能充実を

Q 市勢の展望、支所機能の充実は今

A 愛着持てるまちづくりに努める

市長

Q ①江田島市となつて1年、人口減、廃屋の増加などの中で、市はこれからどんな道をたどるのか。夢ある市勢展望を伺いたい。

A ①市民主体に、安全・安心なまちが実感できる愛着の持てるまちづくりに努める。行財政改革は、厳しい現状を市民と共通認識をもって、設

定した改革を進める。②これから行政サービスにも限界がある。地域の自発的活動に期待し、地域でできることは地域で解決するよう、地域と行政が連携する体制の構築を支援する。支所は、地域と連携して問題を解

決できる拠点となるよう機能の強化についても検討する。

Q 人口減少に歯止めを

浜西 金満 議員

A 定住対策は重要課題である

市長

Q 少子化の影響で江田島市も人口3万人を割るかもしれません。市も「江田島市次世代育成支援行動計画」をまとめていますが、まず、人口を増やさなければなりません。道路も整備され、

広島・呉港等にパンフレットなどを置き、広告活動を展開して欲しい。

A 流出人口を減らすこと及び編入人口を増やすことの2点に集約される。課題として、人口の減少には、交通アクセスの充実、保健・医療・

福祉の充実、就業の場の確保などが必要であり、増加には、市の魅力のPR、情報通信基盤の整備、子ども教育環境の充実などがあるが、できるものから実行する。



▶少子化の影響による少人数学級授業

Q 新造フェリーの運航は

鎌田 哲彰 議員

A 合理的な運航をしている

市長



▲広島～中町間を運航する「ドリームのうちみ」

Q 約5百万円もの設計料を含め4億6千万円で建造した「ドリームのうちみ」が、燃費が悪く航行できない事実を、どう市民に説明するのか。設計委託料の返還を求めべきではないか。

A 建造に当たっては、バリアフリー法の全

面適用や積載車両台数の確保などで船幅を決定した。燃費が悪いのは、航海速力確保のためエンジンを大きくしたためで、燃料費が高騰する中、「プリンセスのうちみ」と1週間交代で運航している。

Q 市消防本部の下部組織に消防団が位置付けられているが、消防団員は、地域の消防及び防災活動に励んでいる。ボランティア要素が強いので、配慮が必要では。A 訓練や研修の実施は、消防諸般の要求に適切させるための人づくり

市議会議員報酬を引上げ

市長

可決 賛成22 反対2
平成17年11月28日、第7回臨時会が開かれ、条例の一部改正案、17年度一般会計補正予算案など4議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

新旧対照表

区分	改正前	改正後
議長	月額258,000円	月額339,000円
副議長	月額214,000円	月額298,000円
議員	月額196,000円	月額270,000円
12月支給率	100分の170	100分の175
期末手当		

住民の賛同が得られない。低いほうがよいとばかりは言えないが、住民の皆さんの議論をいただいた上で決定を。当面は現状のままよいと思う。

体(市)は、その各年間報酬総額と本市の比較は、A・人口約3万人の本市に近い県内の4市で、年間報酬総額は、大竹市約1億1,626万円、竹原市約1億1,257万円、安芸高田市約1億1,541万円、因島市約1億2,353万円。改定後の本市は約1億1,241万円です。

なく、見方も色々ありますが、他市の状況を把握しながら、本市の地域性、自主性も含めて、報酬等審議会でも慎重審議され、答申されました。

17年度一般会計補正予算(第4号) 1,320万2千円追加し、189億4,577万3千円とした。理由は、議員報酬及び職員給与の改定に伴う人件費の増減額調整です。

市議会議員の報酬を、類似団体との比較や市議会議員にふさわしい報酬を支給する目的から、市特別職報酬等審議会の答申に基づき、次のとおり改定した。

反対討論

本市の非常に厳しい財政状況下での報酬改定は、

賛成討論

Q・比較検討した類似団

A・絶対的な比較基準は

件費の増減額調整です。